有佐小だより

令和3年 7月 6日
第4号
文責 岩見 浩史

ICT機器の効果的な活用を目指して

「GIGAスクール構想」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか？1人1台端末と、高速大容量の通信ネットーワークを一体的に整備し、ICTを効果的に活用することで、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成する」ことを目指した文部科学省の施策です。昨年度の全国一斉の臨時休校の影響もあり、八代市の公立小中学校では今年度すでに1人1台のタブレットパソコンが整備されました。その有効な活用が望まれています。

【自分の考えを友達に説明】

ところで、本校は昨年度から「ICT教育推進モデル校」の研究指定を受け、授業でのICT機器の活用について研究に取り組んでいます。6月16日（水）には、3年生の国語の研究授業を行いました。まず、主人公の気持ちを考え、タブレットパソコンでピンクとブルーのサイドラインを一人一人が記入します。それを全員分重ね合わせて表示することで、意見が分かれている箇所に子どもたちが気づき、それぞれの考えを述べあうという授業でした。子どもたちはタブレットパソコンの使い方にもだんだん慣れて、迷うことなく操作する姿が見られました。

【全員の考えを重ねて意見の違いに気づく】

昨年度から週末にはタブレットパソコンを持ち帰り、家庭での活用にも取り組んでいます。今年度は、さらに個別に学習課題を選択して取り組んだり、オンラインでの授業に取り組んだりしていきます。オンライン授業を進めるために、まず、教室で子どもたちがそれぞれのタブレットパソコンでZOOMミーティングに参加する練習を行いました。さらには、6月30日（金）の授業参観の時には、保護者にもZOOMの体験をしていただきました。7月9日（金）には、子どもたちが家庭にタブレットパソコンを持ち帰ってインターネットに接続し、学校にいる担任との接続テストを行います。はじめはうまくいかないこともあるかもしれませんが、課題を一つ一つ解決しながら、オンライン授業ができる環境を整えていきます。

【授業参観時に保護者がZOOMを体験】

国版コミュニティ・スクール、スタート

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。有佐小学校は、昨年度までも「あさひっ子学校応援団」（熊本県版コミュニティ・スクール）の活動で保護者・地域のたくさんのご協力をいただいてきましたが、6月28日に八代市教育委員会により「有佐小学校運営協議会」を設置、下表の7人の委員が委嘱され、国版のコミュニティ・スクールとなりました。7月5日（月）には第１回会議を開催し、令和3年度の運営方針（グランドデザイン）その他について、様々なご意見をいただきました。一年間、「地域とともにある学校づくり」のために大変お世話になります。

なお、「あさひっ子学校応援団」は柴田敬輔様をコーディネーターにお願いし、地域学校協働活動として今年度も取り組んで参ります。スクールサポーターを募集いたしますので、たくさんの保護者・地域の方に登録していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【令和3年度委員】

会長	柴田 敬輔 様
副会長	沼田 安信 様
書記	上本 信子 様
委員	田副　稔 様
委員	東嶋 正和 様
委員	岩見 浩史(校長)
委員	吉村 和彦(教頭)